

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	講義+ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
1	赤峯 友子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		デートDV	○	○	大分県人権問題講師団講師(県教育委員会)、大分県地域「協育」サポートリーダー、「笑顔のコーチング」ファシリテーター。消費生活啓発講座講師(アイネス)「人はみんな輝く場所があり、必要とされることで元気になっていく。」人と人をつなげる公民館活動を通して得た、輝く子ども達の笑顔、生き生き元気な高齢者の姿、絆の大切さ、コミュニケーションの力、生きがい作りなど、幸せに生きる方法を一緒に考える講演を行っています。	県内全域	
2	足立 直隆	○	○		○									○	犯罪被害者 刑務所出所者 少年非行	○			①現在 豊後大野市隣保館の指導員として、部落差別問題を中心に人権教育・啓発活動に従事しています。 ②それまでは法務省の矯正職員として38年にわたり犯罪者や非行少年の指導をしていました。 ③保護司会や更生保護女性会等を中心に「犯罪と人権」というテーマで、被害者と加害者それぞれの立場から、犯罪被害者等の境遇や支援制度の問題点、矯正施設の現状(高齢・障がいのある受刑者、非行少年の特徴等)や新たに導入される「拘禁刑」などについてお話させていただいております。	県内全域	
3	阿部 洋子	◎	◎	◎	◎	○	○	○			◎		○	○	・子育て中の親を対象にした人権問題 ・新社会人 ・虐待の問題	○	○	元大分市立保育所長。現在、日本子育てアドバイザー協会の認定アドバイザーとして保育教諭等の指導等を行っている。 NP(Nobody's Perfect)プログラムファシリテーター、大分市人権講師団所属 こども園・保育園 保育アドバイザー	県内全域		
4	安藤 千恵美		◎	○	◎	◎									身近な人権 音楽と人権 歌の中にある人権	○	○	○	九重町隣保館人権啓発指導員 大分県人権問題講師団(県教育委員会) ピアノ教師 ・身近に感じる人権をみんなが知っている歌・オリジナル曲を通し伝えます。人権との出会い ・人と人との出会い 生きていくための大切なことを伝えます。 ・受講される方々に、わかりやすく人権を伝え、人権「幸せに生きる」権利をみんなと共有する時間としたい。	県内全域	
5	池田 実	○															○		・2022年3月末まで大分県人権尊重・部落差別解消推進課に非常勤職員として4年間勤務した。その間に、部落差別問題、性的少数者の人権問題などについて学び、現在も講演会・研修会を受講したり、関係図書を読んだりして、情報のアップデートに努めている。 ・県職員在職中は福祉関係の部署に勤務することが多かった。	県内全域	
6	池部 小枝子	◎	◎	◎	◎	○	○					○	◎	○	○	○	○	○	・中学校教諭、教頭、校長を歴任し2014年定年退職 ・2015年から6年間大分大学非常勤講師 ・現在、大分県保護司会連合会副会長 「人はなぜ、自分(たち)と違うと感じる人(外集団)を排斥してしまうのか」人権問題、差別の根っこをおさえた講演を心掛けている。具体的な内容としては、「部落差別解消」「女性の人権」「子どもの人権」「ハラスメント」「ネットによる人権侵害」「アンコンシャス・バイアス」「ハンセン病」「犯罪をした人」「犯罪被害者支援」等に力を入れている。	県内全域	
7	石本 健一	○			○	○												○	一般企業、定年退職後、嘱託社員として、次の職場で勤務中。 2020年から大分市高齢者ファミリーサポートセンター援助会員となり、庭の草取りなど高齢者の生活支援を行っている。	県内全域	
8	井上 聡				○		○							○	○	○	○	○	生徒・保護者・教職員・事務職員向けにワークショップ型人権研修を行っている。 ・ファシリテーションの視点に立ったワークショップ型研修の展開(H22年度大分市実践記録優秀賞) ・「自己効力感を高める指導の工夫～授業のユニバーサルデザイン化を通して(H26年度大分市実践記録最優秀賞)」	県内全域	
9	井上 杉夫	○	○	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎		安心・安全(事件事故の被害防止)に関すること。 少年の健全育成に関すること。	○		2020年3月に警察官を定年退職するまで、主に刑事・生安部門で、相談や事件捜査を通して様々な人権侵害に対応してきました。警察官時代に県南落語組合会長の矢野大和氏に弟子入りし、退職後は大和師匠と同じ「口演家」として、安心・安全や、少年の健全育成、人権問題等を、堅苦しくなく笑いにのせてお届けしています。今、日常生活で発生している事案への現実的な対応方法を警察官時代の経験を通して皆さんにお伝えします。	県内全域	
10	岩川 義枝			○		○												○	私は福岡から33年前に結婚を機に大分の地にまいりました。アナウンサーの経験を生かし、司会・講師派遣会社トークオフィスを設立 女性メンバー15名で 年間500件以上の披露宴の司会やイベント司会など担当し また企業の人材育成講師や大学の非常勤講師として若者の教育・育成に携わっています。また、ロータリークラブ等奉仕活動や「100年の樹 プルーフライトアップ実行委員会」の役員として 自閉症をはじめとする発達障がいの啓発運動を行ってきました。障がい児を持つ母でもあり 障がいを持つお子さんの保護者の相談を受けることも多く 現在は 大分市議会議員としても活動をさせていただいております。このような経験を生かし コミュニケーション講座を中心に 女性の人権や障がい者の人権等をテーマにお話をさせていただいております。	県内全域	

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	講義+ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
11	江藤 裕子			○	◎		◎		○						○			○	H22.6にNPO法人「共に生きる」を設立。 現在、ふたりの息子の発達障がいに関わり添った経験を活かし発達障害当事者会、電話相談、個人面談、発達障害啓発講演会を開催する。 R4.4 法人解散 任意団体となる。 R7.4 なりすましロマンス詐欺に遭遇	県内全域	
12	大久保 和則	○	◎	○	○	○	○	○		◎	○	◎	◎	○			○	○	現在、宇佐市社会教育指導員として安心院中央公民館に勤務しています。 元NTT西日本大分グループ人権担当 NPO法人アンリッシュ事務局長（人権・部落差別問題に取り組む） ※アンリッシュとは束縛からの解放のことです。 R6 人権尊重社会づくり推進顕彰受賞	県内全域	
13	大滝 弘子	○									◎							○	大分市生涯教育指導者、人権啓発団体“ブブラ”所属、講師歴17年 いけばな教室(小原流一級家元教授)や人権啓発ワークショップを開催。	県内全域	
14	大塚 瑞恵			○									○				○	○	色彩心理セラピスト、カラーアナリスト、色彩心理ファンリテーター、色彩福祉アドバイザーとして活動。クレヨン等色を使ったコミュニケーション手法をワークショップも行って指導。	県内全域	
15	大野 秋	○								○								○	現在、県職員として勤務しています。業務で様々な属性の方と接する機会もあり、すべての人が安心して暮らしていける社会を実現するため、行政としてどのようにアプローチしていけばよいか、みなさんと考えていけたらと思います。また、消費生活相談員の資格を持っていますので、エンカール消費(人や社会・環境に配慮した消費行動)等の視点と絡めたお話もできればと思っています。 (資格)消費生活相談員資格	県内全域	
16	小野 一信	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎		○	○	○			○	○	学校は毎日が感動のドラマで、子どもたちからたくさんの「元氣と勇氣」をもらっていました。みなさんとの出会いに感謝しながら、学校現場での経験もお話し、ともに学んでいきたいと思っています。 ・元校長(教職生活38年) ・玖珠町社会教育指導員(2年間) ・玖珠町部落差別解消推進指導員(R2年～) ・玖珠町社会教育委員(R3年～) ・人権擁護委員(R2年～)	県内全域	
17	片倉 誠二	○	○			○						○	○					○	大分みらい信用金庫に43年間勤務 金融内部監査士 株式会社GARYU ケアサポート学院 理事長 介護職員初任者研修 講師	大分市周辺	
18	河野 龍児						◎										○		(株)リプライ取締役副社長、地域相談支援センター湯羽花で、相談支援専門員として高齢者・障がい者を支援。車椅子体験や障害者の人権について等学校訪問ワークショップ。別府市インクルーシブ防災・災害時要配慮者支援の取り組み。 障害者職業生活相談員資格認定、県身体障害者相談員協会副会長 別府市北部身体障害者福祉協会会長、別府市障害者自立支援協議会委員 (一般社団法人)福祉フォーラムin別府市速見実行委員会代表理事	県内全域	
19	國崎 景園			○	○		○			◎							◎		関係している団体 ・プラン・インターナショナル・ジャパン…女性の人権、児童婚、FGM、名誉殺人等の撤廃 ・ACE…児童労働、児童婚、児童人身売買等の撤廃 日常の活動 ・エイブルアート SOGI ワークショップ+デートDV等 ・由布市人権・部落差別解消推進課川上地区集会所 絵画教室	県内全域	
20	河野 昭三	○	○	○	○	◎	○		○	◎	◎	◎	◎	○			○	○	メンタルヘルス アサーション アンガーマネジメント 2018年までの15年間、大分職業能力開発サービスセンター(職能協会内)の人材育成コンサルタントとして、県内各企業の人材育成支援をしてきました。その後も、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、健康生きがい作りアドバイザーとして、県内各地でカウンセリングやいろいろなテーマの講演活動を続けています。	県内全域	

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	講義+ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
21	河野 民子	○					○				◎							○	○	厚生労働大臣公認手話通訳士 大分県聴覚障害者協会認定手話通訳者 登録手話奉仕員研修講師・手話通訳士養成講座講師 手話通訳者養成講座講師 手話通訳者として活動	大分市、別府市等近隣 中津・宇佐 方面も可
22	小島 典子	○	○	○													○	○	○	日田市人権・部落差別解消推進課に勤務しながら、知識習得に努めています。部落差別問題をはじめとする人権問題について、絵本を通し、マジョリティとマイノリティの関係から、差別解消のヒントを見つけ出していきたいと思っています。	日田市内
23	児玉 隆志	○	○			○											○		津久見市人権対策室長→2019年4月～長寿支援課長→2021年3月退職 介護老人保健施設つくみかん 事務長(2023年4月～) 津久見市職員研修会の講師 津久見市人権・部落差別解消推進保育連絡協議会研修会の講師	県内全域	
24	後藤 史明	○	○				○			○							○		自分で学んだ人権課題について、分かりやすく説明することに重点をおいて研修を組み立てます。活動状況としては、市職員や市内の団体に対して行う研修を担当しています。	県内全域	
25	近藤 浩二	○															○		豊後高田市職員。 「差別していない私」から「差別をなくす私」になることを考えながら学び続けています。	県内全域	
26	佐藤 淳子				◎												○	○	「高校生のためのサードプレイス」=家庭でもない学校でもない第3の居場所を運営しています。平日は高校生に安心して過ごせる場所を開放し、週末はボランティア活動、体験活動、高校生向けの講座を企画運営しています。対話や活動を通して高校生たちの心境の変化や成長を目の当たりにし、私たち大人が高校生をエンパワメントする必要性を強く感じています。他に「子どもアドボケート活動」も行っています。	県内全域	
27	佐藤 康雄	○	◎	◎	○					◎	◎		◎	◎			○	○	○	傾聴力養成 人に合わせたコミュニケーション方法 アサーション ハラスメント アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)	県内全域
28	重石 多鶴子			○	○	○											○	○	○	誰もが幸せに生きる権利をもっています。誤った認識や無意識によって誰かの人権を侵害してはいないでしょうか。みんなで振り返る機会を作っていきましょう。 (R8年度 活動実績) ・保育所・認定こども園での職員対象人権研修(講演) ・小学校・中学校での「いじめ防止授業(文化庁助成事業)」(参加型授業) ・地区公民館主催 中・高校生対象人権研修(ワークショップ) (所属・資格等) 人権擁護委員(大分地区協議会所属) ※人権相談 子どもアドボケート(大分大学権利擁護教育研究センター所属) ※子どもの意見表明支援 スクール・オブ・プレイバックシアター日本校講師 ※演劇手法による共感の場づくり	県内全域
29	進 美保子	○		○	○	○				○	◎	○	○	○			○	○	○	人権擁護委員(大分市)。大分県人権問題研修講師団講師(県教育委員会)。企業研修(人材育成・社員教育・ビジネスマナー)、就職支援、講演を行っています。人とかかわりで大切なのが「自分の状態」です。行動や言動を左右する「感情」の存在を知ること、振り回されることなく自分軸で冷静に向き合えるようになります。笑いをプラスして、楽しみながら受けていただくことで、記憶にのこり日常に活かせる内容となっています。落語を題材にした「答えは落語の中にあっただ」シリーズなどちょっと違った視点で、泣いて笑って心開いて、感情を味方に、自分も相手も周囲も大切にする。人生をより良く生きるヒントをぜひ手にしてください。※ご希望にあわせて(下手ですが)落語もします。	県内全域
30	須藤 里美			○	○	○	○										○	○	○	～笑顔と元気をお届けする「幸せ宅配便」ハッピー里ちゃん～のフレーズ通り、明るく、楽しく、わかりやすい講座です。 絵本の読みかせを軸に、人権講演の活動を行っています。 (ダウン症のいとこがいることで、障がい者に対する偏見などがなくなることを願っています。) パネルシアターを使って講座をします。	県内全域

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	講演	プロフィール・活動状況	対応可能地域	
31	相馬 義視	○	○														○			特別支援学校に勤務し、障がい児の支援や就労啓発(進路指導)をしてきた自分の経験や学びを差別のない社会づくりに生かしていきたいと思っています。	竹田市	
32	田浦 淳一					○	○										○			高齢者分野(認知症中心)、障がい者(就労系、居住系)、障がい児(放課後等デイサービス)、相談支援専門員としての相談業務等の経験が33年あります。	大分市中心部から90分以内	
33	高橋 智秀	○			○	○	◎						○				○	○	○	社会福祉士、福祉施設士、防災士 社会福祉法人みずほ厚生センター 法人本部 本部長 臼杵市地域自立支援協議会 会長 臼杵市介護保険運営協議会 委員 認定 特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター 副理事長 特定非営利活動法人スマートライフネットワーク 理事 大分大学非常勤講師、別府大学非常勤講師、日本福祉大学非常勤講師 公益財団法人大分県社会福祉士会 副会長	県内全域	
34	詫摩 千晴			○	○					○	○	○					○	○		開業助産師。性教育認定講師。	県内全域	
35	竹上 智香			○	○					○							○			保育士/幼稚園教諭/助産師/4人の子の母 大分県内外の幼稚園、保育園、学童保育の勤務を経験したのち26歳で看護学校に再入学をし、看護師・助産師の免許取得。大分市内の産婦人科に勤務。地域の母子にもっと寄り添いたいという思いから2022年4月に産前産後ケアサロンtiを開業し、新生児からの一預かりを中心として活動中。保育園の子どもたちや保護者の方、子ども園の職員研修、小・中・高校生向け、放課後デイ職員・施設職員向けなど幅広い世代へ包括的性教育を届けている。	県内全域	
36	田坂 義巳	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○				○	○		公立小中学校教諭、教頭、校長勤務。その後玖珠町商工会事務局長を5年勤め、2021年度より玖珠町社会教育指導員として人権研修講師として活動中。 現在、大分大学教育学部非常勤講師として、3年4年の学生への指導にあたっている。 玖珠郡部落史研究会会長(11年目) 大分県教育総合研修講師として現役の教師集団へ部落問題を中心に講演活動。	県内全域	
37	立花 憲一	○	◎			◎	○					○					○	○		隣保館の役割 2級課程ホームヘルパー初任者研修(職業倫理)	元日田市同和对策室長・福祉事務所長 定年退職後、日田市社会福祉協議会事務局長、日田市京町地区集会所長(隣保館)を歴任、隣保事業士 日田市同和对策協議会委員、日田市「人権」に関する市民意識調査実施委員、日田市人権研修講師	日田市
38	田中 努			○		○														介護福祉士と保育士の資格を持ち、障害福祉事業を行っています。また介護福祉の職能団体の会長の会長を昨年までさせていただき福祉分野での研修は様々なテーマで行って来ました。利用される側やご家族、支える側の立場での研修ができます。現在は障がい者に関わる余暇活動やスポーツ活動にも力を入れています。	県内全域	
39	利満(正) くにか	○		○	○						◎		○				○	○	○	生涯学習の場としてNPO「座・いきだよ」を主宰し50年。人権いじめ問題講師として、これまで県の内外で300回以上講演 カウンセリング、コミュニケーション等を通して、人生とは何か?を考えて、自己決定して生きる大切さを考えるワーク、講座 ◎人間関係における一自分の内側のバランス関係と距離感 安心・安全・幸せに生きることをモットーとしている。	県内全域	
40	中井 則夫	○	○	○	○	◎													○	1956年茨城県県行方市生まれ 二松学舎大学文学部卒 教育吟詠緑村流 元千葉県習志野市立習志野高校教諭 社会福祉法人みのり村職員(社会福祉主事)、国東市防災士	県内全域	

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	講義+ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域	
41	中西 真紀			○														○		・女性の権利研究会「フローチの会」会長 月1～2回研修会 創立2023年11月 ・NPO法人座いきだよて人生学を学ぶ ・女性の権利研究及び人間関係コミュニケーション ・傾聴について学ぶ	大分市	
42	那須 祐介	◎	◎	○	○			○		○			◎	○				○	○	県職員として知事部局の全ての部を経験し、様々な県民と向き合ってきた。特に人事課、青少年・男女共同参画課、子ども子育て支援課、観光振興課、NPO活動支援担当として経験した人権の大切さや具体的な人権侵害事例に対応した経験を啓発に生かしていきたい。また、入庁後35年以上の間、年間2回以上は様々な研修で人権研修を受講しており、そこでの受講経験も活かしていきたい。 また、自身がバウハラの被害を受けた経験があり、そこから派生する様々な要因や課題なども説明したい。	県内全域	
43	西田 数子	○		◎	○	◎			◎			○	◎			デートDV バウハラ モンスターベシエント ジェネレーションギャップ		○		東京アカデミー講師 大分工業高等専門学校 勤務 福祉サービス第三者評価調査者 助産師、ストレスチェック実施者 大分県男女共同参画審議会委員 産業カウンセラー	県内全域	
44	西村 慶治	◎		○	○	○		○			◎	◎	◎	○		プライバシー保護、 職場における人権問題、人権意識や自己の振り返り等		○	○	○	特定社会保険労務士・キャリアカウンセラー西村慶治事務所代表、大分市生涯学習指導者、1級販売士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント(国家資格)、大分県普及指導協力委員、ギタリスト。	県内全域
45	波多野 裕美			○	◎						◎			◎					◎		【肩書き】・(-財)日本キッズコーチング協会本部講師・しつもんメンタルトレーナー 【活動内容】 ・個性を見つけて伸ばす講演会:心理学やコーチングをベースに、子どもの個性や自立を育む言葉がけなどのスキルを伝えている。・個性を見つけて伸ばす体験活動:スポーツ鬼ごっこ、アート、野外活動など。・主な実績:日本教育学会大分支部勉強会、子育て講演会、思春期講演会、家庭教育リーダー会議(ワークショップ形式)子育て講演会、子ども会リーダー研修、高校生向け仲間作り。 【メッセージ】 子どもの人権の視点を大切に、子どもが自分を認められるために子どもの個性の見つけ方伸ばし方、大人の関わり方を伝えます。座学だけでなく、参加者が自ら動いて気づきを得るワークショップ形式の依頼も承ります。	県内全域
46	原田 紗希									○											大分市を拠点に、性的マイノリティ当事者およびその理解者が安心して集い、語り合える交流の場として『はろつと！おおいた』を主催している。「当事者が孤立しないこと」「セクシュアリティを決めつけないこと」「互いを尊重し合える関係性」を大切に、セクシュアリティやジェンダーに関する悩みから日常の出来事まで、立場や年齢を越えて共有できる場づくりに取り組んでいる。また、おおいたレインボープライド代表として、人権や多様性について考えるきっかけを地域に広げていくことを目指し、活動している。	県内全域
47	原田 英夫	○	○							○	○		◎			アンコンシャスバイアス		○	○		医薬品総合商社の人事部門を中心に34年間勤務した後、現在竹田市社会教育指導員として勤務。 「知る」から「行動が変わる」ことを目的とし、「考える」研修を目指す。	県内全域
48	匹田 久美子	◎	○	◎	◎	○				◎	◎		○						○	○	一人ひとりの違い(多様性)こそが、社会(地域や組織)の力になることを伝えたいです。	県内全域
49	久住 真和	◎	○	○	○	○	◎				○		○	○		消費者問題と人権 「破戒」から考える差別のメカニズム ダイバーシティ(多様性)研修 発達障がい支援 エイジズム(年齢差別)		○	○	○	本読む「気づき」の伝道師。消費生活アドバイザー、大分県発達障がい者支援専門員、第一種衛生管理者、情報処理技術者(情報セキュリティマネジメント)。組織内外の人権のあり方が関心事。 趣味で近代に活躍した人物の評伝などに親しんでいる。特に、郷土の先哲である福澤諭吉の思想や作家 野上彌生子の著作には、人権に関する気づきや学びの素材が多くあると感じている。 活動を通して皆さんと学びの楽しさを共有したい。	県内全域
50	福村 計幸	○																	○		元心理相談員、元高等学校評議員、キャリアコンサルタント、防災士、衛生工学衛生管理者、 情報処理技術者(初級システムアドミニストレーター)	国東市以外

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域	
51	藤井 正直	○	○							○							○	R6～7年度、県庁で人権行政を担当しました。県庁全体の人権行政の羅針盤である「人権施策基本方針」の改定やパートナーシップ宣言制度の導入などを通じて、人権全般のこと、性的少数者の人権問題について学びました。	県内全域		
52	牧野 久美子		◎														○	○	宇佐市隣保館に指導員として勤務。 地域において小・中・高校の学習会に参加。	県内全域	
53	松木 和美	○		◎	◎						◎		◎				○	○	○	心理カウンセラー(日本カウンセリング学会所属) 大分県男女共同参画審議会委員 大分県デートDV防止セミナー講師 現在実施中の講座「女性のためのエンパワメント講座」「親子のコミュニケーション講座」「傾聴セラピスト養成講座」「体罰によらない子育てスキル講座」「ハラスメントと人権尊重社会」「人権が守られる社会をハトタッチ」「共感的傾聴と相談対応時の留意点」等 H28 大分県知事表彰/R元 大分県家庭裁判所 所長表彰/R2 最高裁判所長官表彰	大分市内
54	マックビーン 光子	○	○	◎	○	○	○	◎	○	◎	◎		◎	○			○	○	○	「一人一人が笑顔で輝いて生きる」をテーマに、40年間のカウンセリング経験を活かし、「笑顔・感動・ほめる」をベースにしたわかりやすい内容で、参加者がハッピーな気持ちになっていただけるような人権講演です。	県内全域
55	松縄 英孝	○	○	○	○					○							○	○	○	杵築市職員を退職後、市の社会教育指導員を5年間務め、その後大分県人権問題講師団講師(県教育委員会)となり、市内外の研修に行っている。 スポーツが好きで、陸上、弓道、テニスなど、毎日ほとんど行っている。 人権を学ぶことは、人格を向上させるをモットーに日々学習を続けている。	県内全域
56	三重野 真美				○					○	○						○	○		・大分市を中心に包括的性教育の講座や啓発活動を行っています。 ・包括的性教育は狭義の意味の二次性徴や生殖に関する話ばかりではなく、人と人との関係性の話や心の土台が含まれた世界基準の教育です。 ・対話やワークも取り入れながら行っています。 ・大人向け講座、親子講座、教職員研修、個別相談を行っております。 主な経歴：大学病院を12年勤務した後、看護学校教員を経験し、その後3人の子供の子育て中に包括的性教育を学んでいます。思春期保険相談士、日本思春期学会認定性教育講師。	県内全域
57	御手洗 詳子			○	○	○	○			○	○		○				○	○		産業カウンセラー、ストレスケアカウンセラー 「幸せになるために産まれてきた」をベースに、笑顔になり、温かな気持ちになるような優しい講演をお届けします。	県内全域
58	御手洗 洋子	◎	○	○	◎			○		◎	○						○	○		様々な人権課題から、受講者と一緒に、自分ごとの「人権」、「差別の根っこ」を考えていきます。 大分県庁での人権行政担当(2021～2022年度)、県職員を対象とする相談業務や、子どもの声を聴くボランティア活動での経験等をもとに、人権や傾聴の大切さを伝えるとともに、一人ひとりの「行動」で、誰もが生きやすい社会に変えていくことを、受講者の皆さんと一緒に考えたいと思っています。	県内全域
59	南 由美子				○	◎		○		◎	◎	◎					○	○	○	サービス業のOJT現場指導、企業内の組織コミュニケーション、発声と表現力と笑顔で組織活性化など階層別研修もします。職場での人間関係の円滑化を進めます。 食育活動、健康づくり教室の指導者で、高齢者の問題にも取り組んでいます。食と運動でフレイル対策や健康の講話もしています。大分県中小企業支援アドバイザー、大分市民健康づくり運動指導員、食生活改善推進員、健康推進員。広い視点で問題を解消することに努めます。	大分市内
60	峯松 徹		◎					○						○			○			2005年より杵築市隣保館指導員として勤務(2010年隣保事業士資格取得) 様々な研修により得た知識と指導員として得た活動経験をもとに現代の部落差別問題に日々関わり、啓発を行っています。	県内全域

令和8年度人権啓発講師名簿

番号	氏名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業と人権	ハラスメント	ネット上の人権	犯罪被害者	その他	講義	ワークショップ	講義+ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
61	見矢野 あけみ	○															○		豊後高田市社会教育指導員 国東市隣保館 連続 出前入権講座	県内全域	
62	森川 寿子			◎				◎			◎						◎	◎	◎	大分県内各地の多文化ファミリー(帰国児童含む)や、外国籍住民の相談などのサポートをしている。多文化共生(多様性理解)の推進に関わるイベントや講座を、仕事とボランティアの両方で活動中。 中学2年生の頃のALTとの出逢いをきっかけに、国際交流や国際理解に興味を持ち、今日に至る。 大分県教育委員会 学校・地域支援課「やさしい日本語事業」での講師活動は2021年より参加。 県内市町村の社会教育、生涯学習、人権などの分野での多文化共生をテーマとした講師経験有。	県内全域
63	森田 典子			○	○												○	○	【合同会社co-e connect役員/「九州のママ集まれ!」副代表/元高校英語教員】脳科学・心理学の知見を基盤に、思春期の子どもを持つ保護者支援および家庭教育支援に取り組んでいる。専門は、思春期の脳の発達特性を踏まえた親子コミュニケーション設計と、親と子どもの判断責任の整理。声かけや対応方法に依存せず、関係性が安定する判断構造を明確にする支援を行っている。 <活動状況> PTA、学校、教育委員会主催の家庭教育講座や保護者研修、女性のライフステージ転換期をテーマとした講演等に登壇。行政・地域と連携し、家庭教育支援や女性支援事業の企画・設計に携わる。感情論に寄らず、関係性や役割分担を構造として整理する点を特徴としている。	県内全域	
64	矢野 眞一郎	○			○	○	○							○				○	1961年11月20日生まれ 佐伯市出身 子供 男2人女2人 終活ケアプランナー、身上監護アドバイザー 福祉の学び舎アップワン 統括責任者 介護研修にて人権講座担当	県内全域	
65	山本 裕基	○		○	○					◎								○	中学校教諭(音楽・特別支援)を経て、人権に関心が高まり勉強しています。 特に、性の多様性は教師の時代に様々な生徒に出会い、その苦悩や差別について心を痛める事が多く、少しでもこうした人権の意識を持って頂ける方が増えると多様性への理解が深まるのではないかと考えています。 また、特別支援学級の担任や支援学校での経験を通して子どもや障がい者の人権の大切さを感じています。 佐伯市の人権登録講師を務めています。	県南	
66	山本 裕子	○			○					○	○							○	認知症サポーター養成研修講師、認知症介護実践者研修講師、認知症介護実践リーダー研修講師、NPO法人 さわやか佐伯所属、社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士 幼少期から家族の認知症介護を体験する。当時は「認知症」や「ヤングケアラー」と言う言葉もない中、誰に何を相談したらいいのかを悩みながら学生時代を過ごす。その経験から、少数派の当事者が社会で生きやすい社会への一助になればいいと思い、人権啓発講師として活動している。	県内全域	
67	雷松 太樹				○	◎	○	○									○	○	○	職歴等:福祉関連の現場業務や管理運営経験を経て、現在は介護等研修講師、外国人支援団体(監理団体所属)を行っております。	県内全域
68	吉本 寛子			◎	○					○			○				○	○	○	NPOえいばの会 ( <a href="https://ebanokainpo.wixsite.com/index">https://ebanokainpo.wixsite.com/index</a> )代表 差別や暴力などを受けている女性、子ども、LGBT等の支援、DV・デートDV防止啓発に取り組んでいる。 社会福祉士、精神保健福祉士、大分県男女共同参画審議会委員 「大分県人権尊重社会づくり推進功労賞」「大分県女性のチャレンジ賞」	県内全域